



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月1日

上場会社名 キックマン株式会社

上場取引所 東

コード番号 2801 URL <https://www.kikkoman.com/jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀切 功章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 臼井 一起

TEL 03-5521-5811

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

2019年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	231,624	2.4	20,986	4.6	21,554	7.8	15,289	6.7
2019年3月期第2四半期	226,099	5.4	20,068	5.2	19,998	6.1	14,333	19.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 7,859百万円 (66.6%) 2019年3月期第2四半期 23,563百万円 (54.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	79.64	
2019年3月期第2四半期	74.66	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	377,171	273,804	71.2
2019年3月期	362,119	270,451	73.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 268,697百万円 2019年3月期 265,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		21.00	41.00
2020年3月期		21.00			
2020年3月期(予想)				21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	465,200	2.6	39,120	1.8	38,400	1.3	26,590	2.3	138.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料12ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	193,883,202 株	2019年3月期	193,883,202 株
2020年3月期2Q	1,907,898 株	2019年3月期	1,905,508 株
2020年3月期2Q	191,976,914 株	2019年3月期2Q	191,979,728 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

(1) 第2四半期決算補足説明資料は、TDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しています。

(2) 第2四半期決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における世界経済は、米国の景気は着実に回復が続き、欧州の景気も緩やかに拡大しており、全体として堅調に推移しております。日本経済についても、緩やかな回復が続いております。

このような状況下における、当社グループの売上は、国内については、酒類が前年同期を下回ったものの、しょうゆ、食品、飲料が堅調に推移し、食料品製造・販売事業全体で前年同期を上回りました。海外については、食料品製造・販売及び食料品卸売事業ともに順調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

その結果、当第2四半期の連結業績は次の通りとなりました。

<連結業績>

(単位:百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第2四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
	2018年4月1日～ 2018年9月30日		2019年4月1日～ 2019年9月30日		金 額	%	売上 比差		金 額	%
	金 額	売上比	金 額	売上比						
売 上 高	226,099	100.0	231,624	100.0	5,525	102.4	—	△3,202	8,728	103.9
営 業 利 益	20,068	8.9	20,986	9.1	917	104.6	0.2	△150	1,068	105.3
経 常 利 益	19,998	8.8	21,554	9.3	1,555	107.8	0.5	△112	1,668	108.3
親会社株主に帰属 する四半期純利益	14,333	6.3	15,289	6.6	955	106.7	0.3	△73	1,028	107.2
USD	110.07		109.00		△1.07					
EUR	129.88		121.43		△8.45					

<報告セグメント>

(単位:百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第2四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除		
	2018年4月1日～ 2018年9月30日		2019年4月1日～ 2019年9月30日		金 額	%	売上 比差		金 額	%	
	金 額	売上比	金 額	売上比							
国内 食料品製造 ・販売	売 上 高	89,325	100.0	91,600	100.0	2,275	102.5	—	—	2,275	102.5
	営業利益	6,214	7.0	6,577	7.2	363	105.8	0.2	—	363	105.8
国内 その他	売 上 高	10,789	100.0	10,635	100.0	△154	98.6	—	—	△154	98.6
	営業利益	884	8.2	916	8.6	31	103.6	0.4	—	31	103.6
海外 食料品製造 ・販売	売 上 高	46,544	100.0	47,525	100.0	981	102.1	—	△1,087	2,068	104.4
	営業利益	9,558	20.5	9,759	20.5	201	102.1	△0.0	△136	337	103.5
海外 食料品卸売	売 上 高	93,506	100.0	96,463	100.0	2,957	103.2	—	△2,248	5,206	105.6
	営業利益	3,808	4.1	4,495	4.7	686	118.0	0.6	△14	700	118.4
調整額	売 上 高	△14,066	100.0	△14,601	100.0	△535	—	—	133	△669	—
	営業利益	△398	—	△762	—	△364	—	—	0	△364	—
四半期連結 損益計算書 計上額	売 上 高	226,099	100.0	231,624	100.0	5,525	102.4	—	△3,202	8,728	103.9
	営業利益	20,068	8.9	20,986	9.1	917	104.6	0.2	△150	1,068	105.3
USD	110.07		109.00		△1.07						
EUR	129.88		121.43		△8.45						

各事業別セグメントの業績の概要は次の通りであります。

【国内】

国内における売上の概要は次の通りであります。

(国内 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、つゆ・たれ・デルモンテ調味料等の食品部門、豆乳飲料・デルモンテ飲料等の飲料部門、みりん・ワイン等の酒類部門からなり、国内において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

しょうゆは、家庭用分野では、「いつでも新鮮」シリーズが、テレビ宣伝を中心としたマーケティング施策を徹底することにより、「新鮮な生しょうゆのおいしさ」、「鮮度維持」、「使いやすさ」という付加価値が市場に浸透し、順調に売上を伸ばしました。一方、「こいくちしょうゆ」などのペットボトル品は前年同期を下回りました。加工・業務用分野は、前年同期を下回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を上回りました。

■食品部門

つゆ類は、家庭用分野では、ストレートタイプつゆの「具麺」シリーズが好調に推移したものの、その他のストレートタイプのつゆは振るわず、全体として前年同期を下回りました。たれ類は、主力商品である「わが家は焼肉屋さん」シリーズが好調に推移し、加工・業務用分野も売上を伸ばしたことから、前年同期を上回りました。「うちのごはん」は、新商品の「キャベツのガリバタ醤油炒め」が好調に推移し、「混ぜごはんの素」シリーズも伸ばしたことから、前年同期を上回りました。デルモンテ調味料は、高付加価値品の「リコピンリッチ」などが好調に推移し、前年同期を上回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を上回りました。

■飲料部門

豆乳飲料は、健康志向の高まりを背景に特定保健用食品の商品や無調整豆乳が伸び、飲用だけでなく料理素材として豆乳を使う消費者も増えており、順調に売上を伸ばしました。また、昨年発売の家庭用「豆乳おからパウダー」がテレビに取り上げられ売上に貢献したこともあり、前年同期の売上を上回りました。

デルモンテ飲料は、「リコピンリッチ」や、無塩トマトジュースなどのトマトジュースが堅調に推移しましたが、野菜ジュース、ジュースギフトが振るわず、前年同期の売上を下回りました。この結果、部門全体として前年同期の売上を上回りました。

■酒類部門

本みりんは、家庭用分野では、「米麴こだわり仕込み本みりん」などの高付加価値商品が売上を伸ばしたものの、主力みりん商品の切替に伴う価格体系変更の影響があり、また、加工用分野でも大型容器が減少したこともあり、前年同期を下回りました。ワインは業務用向けが伸び前年同期を上回りました。この結果、部門全体として、前年同期の売上を下回りました。

以上の結果、国内 食料品製造・販売事業の売上高は916億円（前年同期比102.5%）、営業利益は65億7千7百万円（前年同期比105.8%）と増収増益となりました。

(国内 その他事業)

当事業は、臨床診断薬・衛生検査薬・加工用酵素、ヒアルロン酸等の化成品等の製造・販売、不動産賃貸及び運送事業、グループ会社内への間接業務の提供等を行っております。

ヒアルロン酸は好調に推移しましたが、臨床診断薬は振るわず、アルギン事業の撤退の影響もあり、前年同期の売上を下回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を下回りました。

この結果、国内 その他事業の売上高は106億3千5百万円（前年同期比98.6%）、営業利益は9億1千6百万円（前年同期比103.6%）と、減収増益となりました。

【海外】

海外における売上の概要は次の通りであります。

(海外 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、デルモンテ部門、海外における健康食品等のその他食料品部門からなり、海外において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

北米市場においては、家庭用分野では、主力商品であるしょうゆに加え、しょうゆをベースとした調味料などの拡充に引き続き力を入れ、当社のブランド力を生かした事業展開を行ってまいりました。また、加工・業務用分野では顧客のニーズに合わせたきめ細かな対応をし事業の拡大を図りました。この結果、前年同期の売上を上回りました。

欧州市場においては、主要市場であるフランス、オランダ、ドイツなどで堅調に売上を伸ばし、現地通貨ベースで前年同期の売上を上回りました。

アジア・オセアニア市場においては、中国市場で売上を伸ばしました。また、タイ、インドネシア等においても売上を伸ばしました。この結果、現地通貨ベースでは前年同期の売上を上回りました。

この結果、部門全体では前年同期の売上を上回りました。

■デルモンテ部門

当部門は、アジア・オセアニア地域で、フルーツ缶詰・コーン製品、トマトケチャップ等を製造・販売しており、現地通貨ベースでは前年同期の売上を上回りました。

■その他食料品部門

当部門は、主に北米地域において、健康食品を製造・販売しております。

部門全体としては、現地通貨ベースで前年同期並みの売上となりました。

以上の結果、海外 食料品製造・販売事業の売上高は475億2千5百万円（前年同期比102.1%）、営業利益は97億5千9百万円（前年同期比102.1%）と、増収増益となりました。

(海外 食料品卸売事業)

当事業は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

北米では、アジア系マーケットにとどまらず、ローカルマーケットへのさらなる浸透を進め、売上を伸ばしました。また、欧州、アジア・オセアニアでは引き続き市場が拡大しており、各地域で売上は順調に推移いたしました。この結果、前年同期の売上を上回りました。

この結果、海外 食料品卸売事業の売上高は964億6千3百万円（前年同期比103.2%）、営業利益は44億9千5百万円（前年同期比118.0%）と、増収増益となりました。

以上の結果、当第2四半期の連結業績は、売上高は2,316億2千4百万円（前年同期比102.4%）、営業利益は209億8千6百万円（前年同期比104.6%）、経常利益は215億5千4百万円（前年同期比107.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は152億8千9百万円（前年同期比106.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、1,525億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億5百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は、2,246億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ190億5千8百万円増加いたしました。これは主に、在外連結子会社においてIFRS第16号「リース」及びASU第2016-02号「リース」を適用しリース資産(純額)が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,771億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ150億5千2百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、567億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億7百万円増加いたしました。これは主に、未払金が減少したものの、在外連結子会社においてIFRS第16号「リース」及びASU第2016-02号「リース」を適用したリース債務の増加、その他流動負債が増加したことによるものであります。固定負債は、466億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億9千1百万円増加いたしました。これは主に、在外連結子会社においてIFRS第16号「リース」及びASU第2016-02号「リース」を適用しリース債務が増加したことによるものであります。

この結果、負債の部は、1,033億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ116億9千9百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の部は、2,738億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億5千3百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定、その他有価証券評価差額金が減少したものの、利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は71.2%(前連結会計年度末は73.3%)となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ40億7千7百万円減少し、234億3千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における活動ごとのキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは192億7千5百万円の収入となり、前第2四半期連結累計期間に比べ23億9千万円収入増でありました。これは主に、税金等調整前四半期純利益に減価償却費等の非資金項目などを加算した営業活動による収入が前第2四半期連結累計期間に比べ増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、172億2千2百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、55億8千2百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、第2四半期までの進捗状況を勘案し、主に以下について見直しを行い、修正をしております。

下期の為替レートの想定を、1 USドル=107.0円、1 EUR=118.0円とし、その結果、年間の平均為替レートを1 USドル=108.0円、1 EUR=119.9円に変更しました。売上高については、為替レートの想定を変更したため為替換算により海外の売上高が減少すること、第2四半期累計で国内及び海外の売上高が予想を下回ったこと等を反映し、前回予想から下方修正しました。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、為替レートの想定を変更した影響を反映し、前回予想から下方修正しました。

なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（2019年6月25日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

2019年4月24日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	473,500	39,700	38,900	26,900	140.12
今回修正予想 (B)	465,200	39,120	38,400	26,590	138.51
増減額 (B-A)	△8,300	△580	△500	△310	—
増減率 (%)	△1.8	△1.5	△1.3	△1.2	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	453,565	38,417	37,925	25,992	135.39

※ 為替レートの前提
 前回発表予想 通期 USD 110.0円 EUR 125.0円
 今回発表予想 通期 USD 108.0円 EUR 119.9円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,162	25,739
受取手形及び売掛金	60,719	58,679
有価証券	—	96
商品及び製品	42,513	41,972
仕掛品	10,997	11,534
原材料及び貯蔵品	5,330	5,490
その他	7,512	9,669
貸倒引当金	△717	△669
流動資産合計	156,518	152,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	42,862	42,092
機械装置及び運搬具(純額)	40,879	40,621
土地	20,936	20,829
リース資産(純額)	254	15,667
建設仮勘定	14,080	18,898
その他(純額)	4,376	4,213
有形固定資産合計	123,390	142,322
無形固定資産		
のれん	4,969	4,564
その他	5,339	5,334
無形固定資産合計	10,308	9,899
投資その他の資産		
投資有価証券	59,207	59,920
長期貸付金	1,491	1,669
退職給付に係る資産	5,936	6,137
繰延税金資産	3,053	3,084
その他	3,940	3,504
貸倒引当金	△1,726	△1,878
投資その他の資産合計	71,902	72,437
固定資産合計	205,601	224,659
資産合計	362,119	377,171

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,383	21,732
短期借入金	3,487	3,304
リース債務	50	2,277
未払金	18,872	15,568
未払法人税等	3,230	3,735
賞与引当金	2,592	2,985
役員賞与引当金	125	61
その他	5,497	7,081
流動負債合計	56,240	56,747
固定負債		
長期借入金	13,602	13,602
リース債務	90	14,058
繰延税金負債	7,934	7,263
役員退職慰労引当金	711	723
環境対策引当金	31	31
退職給付に係る負債	5,511	5,235
その他	7,546	5,702
固定負債合計	35,427	46,619
負債合計	91,667	103,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,599	11,599
資本剰余金	13,695	13,695
利益剰余金	225,835	236,769
自己株式	△3,631	△3,637
株主資本合計	247,498	258,426
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,521	15,778
繰延ヘッジ損益	△4	2
為替換算調整勘定	1,081	△4,781
退職給付に係る調整累計額	△667	△729
その他の包括利益累計額合計	17,930	10,270
非支配株主持分	5,022	5,107
純資産合計	270,451	273,804
負債純資産合計	362,119	377,171

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	226,099	231,624
売上原価	137,528	140,083
売上総利益	88,570	91,541
販売費及び一般管理費	68,502	70,554
営業利益	20,068	20,986
営業外収益		
受取利息	113	141
受取配当金	689	548
持分法による投資利益	93	111
受取賃貸料	341	354
為替差益	138	1,986
デリバティブ評価益	3,805	6
その他	1,225	966
営業外収益合計	6,407	4,115
営業外費用		
支払利息	59	246
為替差損	3,777	124
デリバティブ評価損	82	910
その他	2,558	2,265
営業外費用合計	6,477	3,547
経常利益	19,998	21,554
特別利益		
有形固定資産売却益	382	—
投資有価証券売却益	—	148
特別利益合計	382	148
特別損失		
固定資産除却損	65	162
環境対策引当金繰入額	259	—
特別損失合計	324	162
税金等調整前四半期純利益	20,056	21,540
法人税等	5,493	6,012
四半期純利益	14,563	15,528
非支配株主に帰属する四半期純利益	229	239
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,333	15,289

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	14,563	15,528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	455	△1,731
繰延ヘッジ損益	39	7
為替換算調整勘定	8,491	△5,878
退職給付に係る調整額	3	△54
持分法適用会社に対する持分相当額	9	△11
その他の包括利益合計	9,000	△7,668
四半期包括利益	23,563	7,859
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,473	7,629
非支配株主に係る四半期包括利益	89	230

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	20,056	21,540
減価償却費	6,459	8,079
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△12	12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△194	△599
受取利息及び受取配当金	△803	△690
支払利息	59	246
持分法による投資損益 (△は益)	△93	△111
有形固定資産売却損益 (△は益)	△384	△15
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5	△148
有形固定資産除却損	212	278
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,780	921
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,601	△1,460
仕入債務の増減額 (△は減少)	176	133
その他	△42	△3,196
小計	22,046	24,989
利息及び配当金の受取額	901	717
利息の支払額	△64	△248
法人税等の支払額	△5,999	△6,183
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,885	19,275
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,173	△13,819
有形固定資産の売却による収入	505	21
無形固定資産の取得による支出	△514	△532
投資有価証券の取得による支出	△590	△3,293
投資有価証券の売却による収入	36	150
貸付けによる支出	△1,114	△547
貸付金の回収による収入	394	321
その他	1,103	477
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,351	△17,222
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4	△54
長期借入れによる収入	202	—
リース債務の返済による支出	△22	△1,261
自己株式の取得による支出	△9	△6
配当金の支払額	△3,264	△4,032
非支配株主への配当金の支払額	△243	△224
その他	0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,341	△5,582
現金及び現金同等物に係る換算差額	816	△683
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,008	△4,212
現金及び現金同等物の期首残高	22,785	27,509
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6	—
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	204	135
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,991	23,432

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国会計基準を適用する在外連結子会社において、ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」を、第1四半期連結会計期間より適用しております。これにより、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識しております。

本会計基準の適用にあたっては、その経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、累積的影響額を利益剰余金に加減しております。

なお、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益、及び四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(IFRS第16号「リース」の適用及びASU第2016-02号「リース」の適用)

在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」及びASU第2016-02号「リース」を第1四半期連結会計期間より適用しております。これにより、借手は原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上しております。

本会計基準の適用にあたっては、その経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、累積的影響額を利益剰余金に加減しております。なお、利益剰余金の当期首残高に与える影響は軽微であります。

この結果、従来の会計基準を適用した場合と比較して、当第2四半期連結会計期間末の固定資産の「リース資産(純額)」が15,373百万円、流動負債の「リース債務」が2,324百万円、及び固定負債の「リース債務」が13,817百万円、それぞれ増加しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益、及び四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	88,497	3,928	40,384	93,288	226,099	—	226,099
セグメント間の内部 売上高又は振替高	827	6,861	6,160	217	14,066	△14,066	—
計	89,325	10,789	46,544	93,506	240,165	△14,066	226,099
セグメント利益	6,214	884	9,558	3,808	20,466	△398	20,068

(注) 1. セグメント利益の調整額 △398百万円は、主に全社費用配賦差額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	90,560	3,521	41,297	96,244	231,624	—	231,624
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,039	7,113	6,228	219	14,601	△14,601	—
計	91,600	10,635	47,525	96,463	246,225	△14,601	231,624
セグメント利益	6,577	916	9,759	4,495	21,749	△762	20,986

(注) 1. セグメント利益の調整額 △762百万円は、主に全社費用配賦差額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。